



健保組合
加入事業所の
ご紹介
その③

米屋株式会社

新しい和菓子文化をめざす
「なごみの米屋」

年間多くの参拝客が訪れ、県内屈指の名刹である成田市の成田山新勝寺。米屋(株)はその表参道に本社を構える老舗の和菓子メーカーです。

創業は明治三十二年。創業者である初代社長・諸岡長蔵氏が新勝寺の精進料理のひとつだった「栗羹」にちなんで、日本で初めて栗羊羹を考案し発売したことに始まります。明治初年までは米穀販売業を営んでいたことが、屋号の「米屋(よねや)」の由来となっているとのこと。以来、伝統の味を守り続け、「ようかん」の米屋」として多くの人に親しまれてきました。

昭和二十年には(株)米屋本店と改組され、年間を通じて商品を提供したいとの考えから、昭和二十四年に羊羹を「アルミ箔紙函包装」にして発売、昭和三十六年には「缶入り水羊羹」を考案し発売したところ大ヒット商品となり、販売網は全国へ拡大していきました。その後、和洋菓子の製造販売へと事業拡大を行い、平成二年に社名を現在の「米屋株式会社」に改めるとともに「なごみ」という新たな企業理念を掲げました。



諸岡 靖彦社長

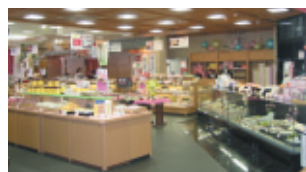
現在、新勝寺表参道の總本店のほか、観光センターおよびロードサイド型の直営店・三店舗を展開し、県内の一五店舗のデパート・スーパーにも出店しています。そのほか、流通ルートでは、コンビニエンスストアに「ごら焼」「大福」といった商品の供給も行っています。



二十一世紀の和菓子文化創造をめざす「なごみ」の理念

今回は、代表者である諸岡靖彦社長がみずから取材に応じてくださり、また、組合会議員である飯島健取締役にも同席していただき、お二人からお話を伺いました。

平成二年に米屋株式会社は、二十一世紀の和菓子文化の創造をめざすうえで、心の「和」とおいしい「味」の文字に、伝統と革新の意味を込めた円を重ね合わせたシンボルマークを



新たに、
1. 心なごみ味の創造、2. おいしい暮らしの演出、3. 人と人、心と心を結ぶ、4. 豊かな未来を広げるという四つの意味を込めた「なごみ」という企業理念を新たに掲げました。

諸岡社長は「創業者から受け継いだ精神を現代風にしたもので、お客様と私どもをこの「なごみ」の精神で結んでいく」、また、「この理念を現実に近づけるため、従業員が各自の

持ち場で「なごみ」の精神を発揮するには具体的に何をすればよいか、それが「なごみ」の精神に合うものかを、みんなに考えてもらう運動をしています」とおっしゃいました。「なごみ」の実践のため、日夜努力されていることがうかがえます。

将来に向けた取り組み

昨年には、食べやすい適量上質の「ようかん」を発売するなど、時代のニーズに合わせて商品の見直しを行ったそうです。そこで、今後の米屋の方向性をお尋ねすると、諸岡社長は「若い世代に和菓子のよさを知っていただく努力が必要です」と答えられました。若い世代が適齢期になったとき、「なごみの米屋」のブランドを受け入れてもらえるようにしたい、また、時代の流れのなかで和菓子の文化をいかに広げていくかをテーマにしなければとのお考えから、現在建設中の直営店にはカフェを設け、「和菓子のお店」ながら若い世代も利用しやすいとします。そこで提供する商品は、洋風のなかにも和の素材や感覚を取り入れた概念(諸岡社長は「和洋習合」と表現されました)のもとで計画されているのだそうです。

長年にわたる社会貢献

米屋總本店の裏には「成田羊羹資料館」があり、無料で見学することができ、入場者数は累計で二〇万人に近づいているとのこと。總本店二階には個展などに利用できる

「成田生涯学習市民ギャラリー」を設けて、広く一般に開放しています。また「お菓子教室」も開き、一般の方

が気軽に利用できるようになっています。そのほか、高校生への返済不要の奨学金交付や福祉施設への製品寄贈などを長年行ってきました。これらの社会貢献が認められ、昨年十一月に「千葉のちから中小企業表彰」(千葉県知事表彰)を



米屋株式会社と健保組合

米屋株式会社は、昭和五十七年「健康保険組合設立推進幹事会」を発足させた県内の食品メーカー七社のうちの社です(当時は(株)米屋本店)。

昭和五十八年七月、健保組合の発足と同時に理事となられたのが同社の諸岡孝昭会長でした。その後、平成十二年三月に第三代目の理事長に就任され、現在もその任に就かれており、健保組合の代表者として円滑な事業運営にご尽力をいただいています。また、軟式野球大会においては、第二回大会から同社グラウンドの使用にご配慮をいただき、円滑に実施しています。厚くお礼申し上げます。

受賞され、また本年二月には、総務省の外郭団体・地域経済総合研究所が創設した「ちいき経済賞」を受賞されました。「ちいき経済賞」は、創設以来一二年間で表彰されたのは全国で六五社、千葉県内では五社目の受賞とのこと。諸岡社長のお話のなかにもあったのですが、創業者・諸岡長蔵氏の「人様をお助けすることによって、自らも幸せになれる」という精神を、いまなお継承され、実践されているのだと思いました。

福利厚生も充実

同社では、従業員のために会社の補助により、野球・テニス・ボウリングといったクラブ活動が行われているとのこと。特に野球部は、当健保組合の軟式野球大会において七回も優勝を果たした強豪中の強豪で

す。過去二回の大会のなかで七回の優勝というのは、歴代の優勝チームのなかで最も多い回数です。また、健保組合で過去に行われていた硬式テニス大会やスキー教室などにも多数ご参加いただいた経緯もあり、健保組合の体育奨励事業に対し多大なご理解をいただいております。健診事業では、対象者のほぼ一〇〇%が受診されています。また、被扶養者の方の受診率は平均値を超えており、平成二十年度から始まる四〇歳以上の被扶養者を含めた健診の義務化に対し、その円滑な実施に明るい材料となっています。

ちなみに諸岡社長と飯島取締役は、昨今話題のメタボリックシンドロームとは無縁の体型をされており、健診結果も良好とのこと。諸岡社長は食事と睡眠に気を配る健康法で、こと



食事に关しては奥様がとても気遣ってくれ、すべて手作りでご用意されるということとで、お陰でここ数年かぜもひいていないと感謝されてい

★★★★★



「なごみの米屋」の製品は、近くに直営店がなくともインターネットで注文することができます(「なごみの米屋 楽天市場店」)。
<http://www.nagomi-yoneya.co.jp>

